

事業者排出量削減報告書

(宛先) 京都府知事		平成28年 7月 22日					
報告者の住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地) 東京都港区浜松町2-4-1		報告者の氏名 (法人にあっては、名称及び代表者名) 一般社団法人 日本血液製剤機構 理事長 石川 隆英					
主たる業種	生物学的製剤製造業				細分類番号	1 6 5 3	
事業者の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 第12条第1項第1号 <input type="checkbox"/> 第12条第1項第2号又は第3号 <input type="checkbox"/> 第12条第1項第4号						
計画期間	平成26年4月から平成29年3月まで						
基本方針	省エネの推進、廃棄物排出量の削減、リサイクルの推進を進め、ISO14001環境マネジメントシステムによる環境負荷の低減を図る						
計画を推進するための体制	環境安全責任者(工場長)を長として、その下に環境管理責任者による環境委員会、ISO推進部会を設置し、事業所内の環境管理を行う						
温室効果ガスの排出の量	温室効果ガスの排出の量	基準年度 (23~25)年度	第1年度 (26)年度	第2年度 (27)年度	第3年度 (28)年度	増減率	
	事業活動に伴う排出の量	22,261.2 トン	21,712.2 トン	21,306.4 トン	トン	-3.4 パーセント	
	評価の対象となる排出の量	22,311.4 トン	21,712.2 トン	21,306.4 トン	トン	-3.6 パーセント	
	実績に対する自己評価	省エネ機器導入等の効果により削減できたものとする。					
原単位当たりの温室効果ガス排出量等	事業の用に供する建築物の用途	原単位の指標	基準年度 (25)年度	第1年度 (26)年度	第2年度 (27)年度	第3年度 (28)年度	増減率
	工場	事業活動に伴う排出の量 (出荷ベース標準原価換算)	241.13	211.19	183.45		-18.17 パーセント
		事業活動に伴う排出の量 ()					パーセント
	実績に対する自己評価	生産金額の増加(約10%)及びエネルギー使用量減により大幅に原単位当たり排出量が低下した					
重点的に実施する取組の実施状況		基準年度 (25)年度	第1年度 (26)年度	第2年度 (27)年度	第3年度 (28)年度	備考	
		100.0 パーセント	100.0 パーセント	100.0 パーセント	パーセント		
具体的な取組及び措置の内容	(26)年度	ブラインチラー2ユニットを更新したことで45t-co2の削減効果が得られた					
	(27)年度	ボイラーを更新したことで184t-co2の削減効果が得られた					
	(28)年度						
通勤における自己の自動車等を使用することを控えさせるために実施した措置	措置の内容	近隣地区に居住する者は、極力自転車、徒歩で通勤することをISO14001の活動の中で継続的に実施している					
	上記の措置を実施した結果に対する自己評価	定量的な効果把握することはできないが一定の効果は出ているものとする					
森林の保全及び整備、再生可能エネルギーの利用その他の地球温暖化対策により削減した量	区分	第1年度 (26)年度	第2年度 (27)年度	第3年度 (28)年度	備考		
	森林の保全及び整備によるもの	トン	トン	トン			
	地域産木材の利用によるもの	トン	トン	トン			
	再生可能エネルギーを利用した電力又は熱の供給によるもの	トン	トン	トン			
	グリーン電力証書等の購入によるもの	トン	トン	トン			
	温室効果ガス排出量の削減又は吸収の量の購入によるもの	トン	トン	トン			
合計	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン				
地球温暖化対策に資する社会貢献活動	工場周辺の美化活動(クリーンキャンペーン)2回/年実施						
特記事項	第一計画期間の超過削減量を、第二計画期間の温室効果ガス排出量から次のとおり差し引く。						
	超過削減量	第1年度	第2年度	第3年度	トン		
	トン	トン	トン	トン			
	平成28年6月28日より代表者が秋山 裕治から石川 隆英に変更となりました						

注 1 該当する口には、レ印を記入してください。特定事業者以外で自主参加される事業者の方は、レ印の記入は不要です。
 2 「細分類番号」とは、統計法(平成19年法律第53号)第2条第9項に規定する統計基準である日本標準産業分類の細分類番号をいいます。
 3 「基準年度」とは、計画期間の前年度又は計画期間の前の3年度の事業活動に伴う排出の量又は原単位の数値の平均をいいます。
 4 「増減率」とは、基準年度と比較した計画期間の平均の増加又は減少の割合をいいます。
 5 「重点的に実施する取組の実施状況」とは、温室効果ガスの排出の量を削減するために重点的に実施した取組の実施率を地球温暖化対策指針で定める方法により算出して記入し、その算出の根拠となる資料を添付してください。